

## 春日神社石鳥居



指定区分	県指定重要文化財(建造物)
読みかた	かすがじんじやいしとりい
所在地	笠岡市小平井
指定年月日	昭和35年8月23日
解説	春日神社第一鳥居として立つ室町時代末期の石鳥居で、頂部の笠木と鳥木がその明神鳥居[みょうじんどりい]といわれる形式に属する。花崗岩製で、高さ3.6mを測る。春日宮と刻んだ扁額の裏側の刻銘から、領主である渡辺氏が天文5年(1536)9月に建立したことがわかる。二本の太い円柱と笠木、鳥木、貫、額束など当初のものが残っており、室町時代末期の石鳥居としての基準作である。
アクセス方法	JR笠岡駅から車で約15分
公開状況	外観のみ
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> <span>駐車場 </span> <span>トイレ </span> </div>
備考	